

令和4年度 第2回  
学校関係者評価委員会 信頼される鹿商のための委員会

1 日 時

令和4年11月4日（金） 9:45～11:45

2 場 所

本校管理棟2階 資料室

3 出席者

学校関係者評価委員（6名）

元幼稚園園長、元NHK記者、前町内会長（下宿主）公立中学校長、同窓会副会長、  
PTA副会長

校内委員（10名）

校長、教頭、事務長、教務主任、生徒指導主任、進路指導主任、保健主任、商業科主任  
教務部（記録係）

4 会 順

(1) 学校長あいさつ

(2) 授業参観の感想

- ・ 進路資料室を中学生に閲覧、説明をしてもいいのではないか。
- ・ 授業について、TTと習熟度を充実していくとさらにいいものになる。
- ・ 保護者の立場から、授業参観の機会がありとても良かった。

(3) 学校の概況説明

ア 教務部

(ア) 本年度の計画に対する進捗状況

a 「中学生の1日体験入学」

7/28（木）、8/29（月）の合計2回実施し、合計150名（1回目：30名、2回目：120名）の中学生が参加した。

b 10/22日（土）に「オープンキャンパス」を実施

合計29名の中学生が部活動や授業の体験をした。

c 一日体験入学アンケート結果の報告

(イ) 学力の向上に務める

a 教室の学習環境を整備

b 習熟度別学級編成により個に応じた指導を実施

c 教員の授業改善及び指導力向上を目的とした相互授業参観を11月に実施

d 教職員及び生徒へのタブレット配布の準備

(ウ) 地域との連携を深める

a 体育祭を9/10（土）に実施

3年ぶりに3年生によるパネル作成とやぐらの設置を行い、1・2年生による花作りも本格的に実施した。

b 文化祭を10/29（土）に開催

日頃の学習の取組の成果やクラスごとに作製した作品展示、バザー等を実施した。

c 芸術鑑賞会を11/7（月）に開催予定

## イ 生徒指導部

### (ア) 本年度の目標（重点項目）

- a ビジネスで通用する身だしなみ・礼儀作法の習得
- b 基本的な生活習慣の確立と問題行動の未然防止
- c いじめ問題やネットトラブル及び不登校の未然防止・早期発見・対応

### (イ) 本年度の計画に対する進捗状況

- a 活気ある、元気な鹿商生の育成
- b 不法行為や校則違反及び交通事故・違反の未然防止
- c 暴力行為やいじめの未然防止
- d ネット犯罪やネットトラブルの未然防止  
⇒ 講話を実施することができた。
- e 不登校・長期欠席者への早期対応
- f 生徒指導体制の充実  
⇒ 6月と9月に職員研修を実施することができた。
- g 校則の点検と見直し  
⇒ アイスクリームの自販機導入、通学鞆に関する検討、通学手段に関する検討を行った。

## ウ 進路指導部

### (ア) 本年度の計画に対する進捗状況

- a 「紫雲タイム」の実施
- b 「学びの基礎診断テスト」（校外模試）の実施
- c 高校生活および卒業後に向けたキャリア教育の充実
  - (a) 進路・就職ガイダンスへの参加
  - (b) インターンシップの代替となる企業訪問を計画中（ローカスプログラム）
  - (c) キャリア・パスポートの積極的活用

### (イ) 本年度の進路決定状況

- a 求人状況 各企業から鹿商生が欲しいという声が多い
- b 就職決定状況（京セラ隼人・久永コンサルタント・日立製作所など）
- c 進学決定状況
- d 公務員決定状況

## エ 保健部

### (ア) 本年度の計画に対する進捗状況

- a スポーツテストは授業で実施
- b 各種定期健診、各体育的行事における学校医による健康相談を実施

### (イ) 感染症及び熱中症の予防・対策の徹底

### (ウ) 保健関係行事についても感染対策を徹底した上で、実施へ向け検討中

## オ 商業科

### (ア) 本年度の計画に対する進捗状況

- a 地域と協働活動への取組
- b 実践・体験的な学習の実践
- c 専門的職業人の育成
- d 習熟度・類型制度の発展・充実

#### (4) 質疑応答、提言

- ・ 教務部の本年度の目標は学校経営目標が根源に含まれているのか、非常に明確でわかりやすい目標である。
  - 学校長の学校経営目標に基づいて目標を立てている。
- ・ 一日体験入学のアンケート結果について、有効活用できるものとなっている。
  - 一日体験入学のアンケート結果を分析して、次年度の計画に活かしている。なお、資料に掲載できなかったものについては、10月22日（土）に開催したオープンキャンパスで校舎から見える桜島の映像などを見てもらった。
- ・ 下関商業高校との交歓会について大々的に取り上げていくべきである。
  - 下関商業高校との交歓会についてもっとPRしていきたい。  
新聞社等にも取り上げてもらうように要請している。
- ・ 進路資料室を閲覧して、感動した。その内容を中学生に伝える手段を考えるべきである。
  - 今後も広報活動に積極的に取り組んでいきたい。
- ・ 学んだことを生かすような進路実現をさせていくべきである。
  - 今年度は、事務職の求人も多かった。金融関連企業からも求人をお願いしているが希望する生徒がいなかった。サービス業・製造業への希望が増えている。
- ・ あいさつは人づくり、校内でのあいさつレベルが下がっている。
  - 礼法指導の充実が必須である。生徒指導部と連携して指導していきたい。
- ・ 離職率14%をもっとPRすべきである。
  - 今年度、求人数が2000件を超える勢いである。離職率が少ないことを企業からも評価されているので、今後もこれを引き継いでいきたい。
  
- ・ 学生靴変更について、生徒からの要望か、職員からでてきた意見なのか。
  - 学生靴については、生徒からの要望、実態等を踏まえ、さらに職員の意見を集約して変更することになった。
- ・ 高校における不登校に対する対策の現況を教えてください。
  - タブレットを活用した授業配信を計画中である。また、欠席ではない出席停止が増えている。欠席と出席停止を合わせた、登校していない日数を掌握している。
  
- ・ 「資料を読んできてください」はとてもよかった。先生方との質疑・応答の時間を確保できる。
- ・ 鹿児島南高校野球部の体験入部は210名参加したと聞く、鹿商と何が違うのか。
  - 他校との数の違いは、われわれも知りたいところである。交通機関や寮、通学手段の問題など学校側としてできることは実践してきている。この会だけでなく、出された意見などを踏まえて全職員で改善の方向に動いています。
- ・ この学校関係者評価委員会は、この場で意見集約するだけで今後に生かすことはしていないのか。全職員で取り組むべきである。
  - 委員会で提言いただいた内容については、職員に周知して各部・係で検討し、改善をお願いしている。
- ・ 鹿商とは何だろうか、過去には鹿商のイメージと目的意識が明確にあったが、今は鹿商とはどんなイメージがあるのかよく分からない。
- ・ 靴を変えたいという話があったが、商業というマークを大切にしてもらいたい。マークを刻まれた持ち物で鹿商の宣伝がされている。
- ・ 野球部の生徒が礼儀正しく、あいさつをしてくれる、どこの世界でも通用する人材となりうると実感している。他の生徒にもそういう姿勢が浸透している。
- ・ バス通学生の状況が思わしくない（ゴミを落としたり）、あいさつは先輩がしているから引き継がれてしているに過ぎなくなっているのではないかと。

- ・ 礼儀作法は社会人としての基本、全生徒が身に付けてもらうように学校で教育してもらいたい。
- ・ なぜ鹿商がここにあるのかなど、鹿商の歴史について新入生に対して教えていくことを毎年して行ってもらいたい。
- ・ 少子高齢化の波は抑えられない時代のなか男子校で継続していけるのか。
- ・ アシスト自転車は許可されているのか。

→ 学科再編や共学の問題については、学校設置者である鹿児島市と相談して決めることである。全国の令和3年度の出生者数が80万人に減少している。今年度市教委が、市立三校の今後のあり方について活性化委員会を立ち上げて審議している。アシスト自転車は許可されている。なお、高校生のヘルメット着用は義務化されていない。

- ・ 本会は質問の時間をしっかりと確保していただき有意義な会となった。
- ・ せばる隼人舞いは、今年度初めて途切れてしまった。地域の伝統芸能としてぜひ残して行ってもらいたい。
- ・ 交通機関（バス）について、再度、強く鹿児島市に掛け合っていくべき。
- ・ 生徒指導部に遅刻の状況について、その実態と原因を教えてください。

→ 最近1・2分の遅刻が増えている。

紫原方面の路線が民間委譲やコロナの影響による減便などで、積み残された生徒が遅刻してしまうことが数件出てきている。バスについては今後も根気強く各方面にお願いしていく。

せばる隼人舞いの参加についてもう一度生徒への呼びかけをしたい。